

# 友和

NO. 570

発行日 令和6年10月1日

発行 社会福祉法人 友和の里

〒738-0203

広島県廿日市市友田 218-38

TEL0829-74-2157 FAX0829-74-2154

HP : <http://yuuwanosato.com/>

発行者 常務理事 下川真稔



暑さからようやく解放されてきた心地のするこの頃です。いかがお過ごしでしょうか。

友和の里の遊歩道では栗の実が転がっていたり、いろんなキノコが生えてきたりしています。通所部ではアーチェリーランドへ通い始めて1年がたったそうです。田中陽介さんは自分で弓を装着して的を狙えるようになったと聞きました。的の距離も少しずつ伸びてきていて、一連の流れにのっとって練習ができるようになっていっているそうです。これからが楽しみです！

## すいようびの買い物

数年前から、買い物の機会を増やしたい。という思いで移動スーパーに来てもらっています。宮内にあるAコープさんの商品をたくさん乗せたとくし丸は、毎週水曜日の14時半ころ、音楽を鳴らしながら来てくれます。皆さん、とくし丸での買い物を楽しみにされていて、自分の番はいつかと気にされています。お菓子やジュースはもちろん、総菜の焼き鳥やお好み焼き、刺身やお寿司、お弁当もあるので、夕食にプラス一品買われる方もいます。カップ麺も人気です。コロ



ナで買い物に行く機会が激減した中で始まった、移動スーパーの訪問。勝手も分からず、最初は消極的な方も多かったのですが、今では皆さん慣れて好きなものが置いてある場所も覚え、積極的に買い物を楽しまれています。

(主任生活支援員 乙原 恭子)



いってきたよー  
さわったよー

## 「造形作家玉田多紀ダンボール物語」展

入所部生活介護のご利用者さんで10グループに分かれて8月20日～9月19日の間に、ウッドワン美術館で開催されている「ダンボール物語」展に行ってきました。ダンボールでできている生き物たちですが、今にも動き出しそうなほど生き生きしておりました。今回の展示は実際に手に触れる事ができるブースもあり、積極的に生き物たちに触れたり、持ってみたりして、感触を確かめておりました。ダンボールでできているので、軽いのかなと思ったのですが、実際は重くて硬かったようです。また、カエルの恰好をして写真が撮れる場所もあり、積極的にカエルのポーズをされる利用者さんもありました。友和に戻られると早速、美術館に行ってきた事を楽しそうに話をされておりました。

(主任 甲斐 真由美)



### 開所日ワクワク通信



8月開所日はメダカすくいとお菓子すくいをしました。メダカすくいは初体験の人もいました。すくう網と器を両手に持ってどうしたらすくえるか考えながらのメダカすくい。狩猟本能なんでしょうか、集中力がすごかったです。

(生活支援員 三宅 将)

### 職員突撃インタビュー

今月は貝通し班で利用者さんのサポートをがんばっている22歳の丸子瑞貴作業支援員(2023年入職)を紹介します。

#### 入職して10ヶ月、どうですか？

体重が15kg落ちて健康的になってきた。  
自分で考えて行動できるようになった気がする。



作業支援員 丸子瑞貴さん

利用者さんひとりひとりの仕事量がわかるなど観察力もついてきました。  
利用者さんの中には積極的にかかわって欲しくない人がいるかと思うと、(職員の)自分のことを心配して「ダイジョウブー？」と声をかけてくれる人もいます。いろいろな人がいるなと思う。

#### 友和の里で働くということ

今22歳なのでみんなが先輩。職場でいろんなことを相談できて、きちんとアドバイスが返ってくるのがうれしい。すぐへこみややすい性格なのでメンタルを鍛えてもらっている気がする。友達とは違う話相手ができる感覚。

ウロコインコ8羽を飼っている丸子君。  
インコも人みたいにいろいろな性格があると、  
にこにこしながら教えてくれました。



### ゆわのさとまつりに せびて

ちやくちやくと  
じゅんぴ  
はじまつてます

チラシとポスター用にまつりのテーマとタイトルを三宅さん、石田さんに描いてもらいました。



### 貝通し班

毎日コツコツと採苗器を作り、それがだんだんと増えてきました。みんなが楽しく作業し、作業のなかで出来る事が増え、成長を喜べたらと思います。

今月は峠本 滋基さんを紹介します。

峠本さんはパズルが好き。休憩中はパズルをして過ごされ完成すると「これ電車、これ車」とお喋りされます。パズルについて話される時の笑顔が素敵です。

(生活支援員 三宅 将)



### 療育班

療育班には18名が所属され、ホール、作業室1作業室2の3つの部屋に分かれて活動しています。作業室1ではパズルや型はめなどを行なっています。複数の課題を休憩をはさみながら取り組む方、ひとつの課題をじっくり取り組む方などそれぞれのペースで行っています。これからも利用者さんの個性に合った課題を提供していきます。

(生活支援員 濱田 吉弘)



※課題とは、「自立課題」と呼んでおり、ひとりひとりにあった材料を用意しています。

### 陶芸班

粘土で小物作りを行ないました。いつもと違う作業でしたが、皆さん笑顔でとても上手に自由に手を動かされ、次々に作品を生み出されました。隠された才能がまだまだ沢山あるんだなと思いました。これから色付けをして完成が楽しみです。友和まつり等で展示販売予定ですので是非ご覧ください。

(生活支援員 堂面 なみ)



### 創作班

今回は新しい取り組みについて紹介します。先行研究から繰り返し行うと良い影響があるという訓練をパソコンで行います。まずは創作班の皆さんが取り組んでみて、少しずつ他の皆さんにも挑戦してもらえたらと思っています。将来への効果を期待しつつ少しずつ進めています。

(生活支援員 寄尾 博孝)



## ズイセイのひ

爪切りをしているのは支援員の河崎さん、切ってもらっているのはすっかりリラックスしている村松さん。気持ちよさそう。



8月24日(土)に地域で開催された岩組夏祭りに入居者の皆さんとショートステイ利用中の利用者と一緒に参加しました。昨年も参加させていただいており、地域の方から暖かいお言葉をかけていただき、楽しい夏の時間を過ごす事ができました。

(部長 乙原 亮)



会場では、フランクフルトや焼き鳥を食べながらステーションをみました。子ども向けに菓子まきがあり、特別枠で参加できました。司会者に「友和の里のみなさんもうそー」と紹介してもらってお菓子を真剣にゲットして楽しみました。



消防訓練とは？①消火訓練②通報訓練③避難訓練の流れで実施される訓練になるそうです。

9月19日(木)にフレンドホームゆうわとグループホームゆうわ合同で消防訓練を実施しました。今回は消防士の方々は緊急出動要請があったため来ていただくことは出来ませんが、入居者や短期入所者の方々は迅速に避難して下さり、消防訓練後に職員同士で反省点を挙げる際にも、訓練をしていなかったら気付かなかった事にも気付くことが出来ました。実際に火災等が発生した場合でも、皆様がパニックにならず安全かつ迅速に対応できるように今後も定期的に訓練を実施して参ります。(生活支援員 堂面 大地)

昨年7月5日に社会福祉法人 廿日市市社会福祉協議会 地域福祉課 権利擁護係 成年後見利用促進センター 主任 中村真和様による講演会を開催しました。この講演会は保護者の方からの『親亡き後』についてのご相談があり開催になりました。講演会後から1年以上経過しましたが、家族内で検討され実際に後見人をつけられる方も増えて来ています。皆さんが抱えている悩みや思いを共有しながら少しずつでも安心の形にしていけたらと思います。

(部長 乙原 亮)

今月は廿日市市栗栖地区にある栗栖神楽団くりす かぐらだん 団長山崎豊治やまさきとよはる (70 歳) さんにお話をききました。栗栖神楽団には 11 月に予定してる友和の里まつりでステージ出演をお願いしています。

栗栖神楽団は昭和 32 年栗栖地区の若者たちが郷土発展のためにと矢上系山県舞（六調子旧舞）を伝承し発足した。現在 9 歳から 70 歳までの総勢 25 名が週 2 回の稽古を続けている。広島市や旧大野町からも来ているそう。団員の中にはこれからを担う子どもたちもいて現在 7 名が所属。団長は山崎豊治 (70 歳) さん。14 年団長をつとめてこられた。共演大会では受賞歴多数で、稽古場の集会所にはたくさんの楯や旗が飾られていた。この秋の公演回数は 23 回で、そのうちの 1 回が 11/10 の「友和の里まつり」ということだった。

取材にうかがった日は小学 2 年生と 4 年生の男児が先輩の男児と舞の稽古をしていた。二人は白い足袋をはき弓矢を持って舞っていて、途中二人が重なったり離れたりする。周囲を団員に囲まれながらの練習。年配の団員が入れ替わり立ち代わりしながら、相手の動きを察知しながら合わせて舞うことを何度も根気よく教えられていた。男児たちがいろんな大人に熱心に声をかけられ指導されている様子は、見ている者をなんだか熱くする。男児たちとは世代も価値観も見ている風景も違うかもしれないそんな大人に囲まれて稽古は 2 時間も続いた。一生懸命伝えようとしている人と、学ぼうとしている人がいる稽古場は真剣そのものだった。子どもたちはまだまだ出演する機会は少ないようだったが、「お金をもらうからにはちゃんとしたもんをみせんといけん」。団長の山崎さんの言葉が印象に残った。

(地域交流支援員 ヒューガノリコ)

保管されているお面を見せてくれる団長の山崎豊治さん



## 神楽とは、

日本古来の伝統芸能で、神の前で行う鎮魂(ちんこん)・五穀豊穰・厄災の払拭・豊作のお礼のための歌舞(かぶ)がその発祥といわれています。今でも秋祭りでは、地域の幸せを祈る舞として神楽が奉納されています。

稽古の風景



## 新舞と旧舞、なにがちがうの？

旧舞、新舞の分類として一般的には『旧舞→矢上系六調子(矢上舞)』、『新舞→高田系八調子(高田舞)』として分類されがちですが実際の分類としては『太平洋戦争前に創られたもの→旧舞』、『太平洋戦争後に創られたもの→新舞』と分類されるそうです。

# 10月 ぎょうじよてい 行事予定

10/1(月) かんりしやかいぎ 管理者会議

10/8(火) にゅうしょぶひがま りよこう たの かい 入所部日帰り旅行、お楽しみ会

10/11(金) GH/FH ゆうしょくかい 夕食会

10/14(月) スポーツの日

10/16(水) GH しんぼくかい 親睦会 (12:30-14:00)

10/16(水) にゅうしょぶ 入所部レクリエーション

10/21(月) 友和の里 かんじかんさ 監事監査

10/26(土) ハーモニーフェスタ (通所部開所日)

10/23(水) にゅうしょぶゆうしょくかい 入所部夕食会



◆◻◆社会福祉法人友和の里にいただいたご支援ご寄付紹介◆◻◆  
~あたたかいご支援ご協力いつもありがとうございます~

令和6年8月28日 広島市手をつなぐ育成会 障害者支援施設いくせい様  
陶芸資材と画材の寄贈

## ◆新しい職員さん



むらたさなえ  
村田早苗さん

むらた 村田さんはフレンドホームの新しい職員さんです。洗濯や掃除、食事の準備をしていただきます。前職は食品メーカーでヨーグルトの製造をされていたそう。ヨーグルトは40℃の部屋で作られるときいて驚きました。趣味はウクレレと手芸。

9/30 現在時点での友和の里まつりの情報をお伝えします。  
ポスターやチラシも制作がすすんでいます。



石田亮さん書 (笑顔・えがお)

三宅一総さん書 (広がる・ひろ)

笑顔  
えがお  
広がる  
ひろ  
友和の里まつり  
ゆわのさと

地域と共に

三宅一総さん書  
(友和の里・ゆうわ・さと)

石田亮さん書 (まつり)

日時 11/10(日)  
10:00-14:30

角野賢一さん描画

会場 廿日市市友田218-38

※少雨決行 荒天中止

佐藤和子さん描画



万勝太鼓

### ステージ出演

万勝太鼓  
栗栖神楽団『塵倫』  
友和保育園 (うた、ダンス)  
Peace Clover (ダンス)  
Mele Tiare (フラダンス)  
寺子屋 Lamp (けん玉)  
友和の里  
餅まき(順不同)



栗栖神楽団

### 出店団体・模擬店

よしわ・さいき障がい児と親の会みかん  
(遊休品、ジュース、駄菓子)  
劇団あじさい(たい焼き)  
友和女性会(たこ焼き)  
広島ひかり園(入浴パック、草木染)  
あおぞら(チヂミ、クッキー、雑貨)  
きらほし(手作り製品、ホットコーヒー、ジュース)  
夢工房(パン)  
友和の里・リフレッシュクラブ  
(うどん、焼き芋、おにぎり、唐揚げ、ポテト)



Peace Clover



かわくぼ

お問合せ先:0829-40-0133(担当:友和の里 川久保)  
※都合により、一部変更になる場合がございますのでご了承ください。